

事業対象エリア候補の検討

芝生広場、自由広場西側

生物多様性保全林事業の中で草地保全エリアとなっており、地域住民から施設整備しないよう要望が出ています。



憩いと交流の広場

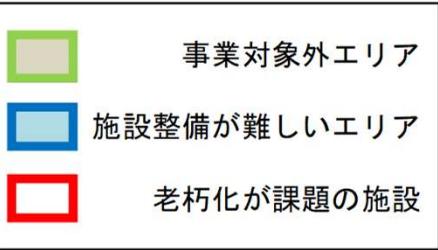
憩いと交流の広場は、ゾーニングや施設内容など地域との協議の上、令和2年に開園したばかりのため、施設整備は難しいと考えています。



：トイレ



：自転車置き場



植樹部分

生物多様性保全林事業の中で樹林地保全エリアとなっています。

花の公園

植栽が公園の大部分を占めており、その植栽を公園ボランティアが維持管理しています。



広場

地域のお祭りで使用しており、地域住民からも施設整備しないよう要望が出ています。



遊具コーナー

この場所自体の改修は可能ですが、碑文谷公園の数少ない遊具エリアであるため、公園内に遊具エリア自体は残す必要があります。



運動施設事業とpony小動物事業について
運動施設事業とpony小動物事業については、碑文谷公園において今後も継続します。